

パネル展示を見て

1月15日 写真のみただけで、地震のこわさや悲し
(金) さが分かりました。協力して頑張っているみなさんの姿を見て、感動しました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

電車や高速道路がくずれしていた写真を見て、震度7、
という数は、どれくらいすごい強い地震なのか
が伝わってきました。国内初の震度7だったの
「今までにないとても大きな地震だったんだ」と
思いました。6434人もの方が亡くなって、43792人
もの方が「負傷者がいて、とてもうらく悲しいです。
私は「新聞なんてただの白黒!」と置いていたけど、
たとえ地震があっても新聞をつくる、という新聞
社さんがすごいと思いました。これから、地震が
おこった時のために、防災グッズを用意してきたいです。

パネル展示を見て

1月15日 今までたくさん話を聞いたし、写真を見たことが「ありまが、
(金) 学年が「上」が、てゆくにつれ、胸がしめつけられるような、
怖い、そんなことを強く感じるようになりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今の時代、コロナ禍が進んでいる為、もし阪神、淡路大震災のような
大きな地震が来たら、今まで一番大きな被害を受けるのかなと思
いました。

避難所など大勢の人達が1つの部屋にいることにより、感染の拡大も
広がるのではないかと考え、改めて怖く感じました。

三好さんの話を聞いて、改めて新聞社の人達はすごいな...と思いました。
自分たちが集めた最大限のしよ報を紙に書いている姿が目に浮か
び、すごいと感じました。

パネル展示を見て

1月15日 今僕が知っている神戸とは思えないような風景で
(金) みんながみんなを助け合って必死に生きようとして
いるのが伝わってきて、それほど地震は恐ろしいものだ改めて分かった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

日本では災害が多いが、日頃から災害が起こっても
大丈夫なように災害に備えておくのが大切だと思えた。避難
場所や家族の集合場所を決めておくだけでも避難するとき
少しは避難しやすいと思うので、家族と話し合ってみよう。
新聞社の人には阪神淡路大震災のときでも記事を作って
迷惑にならなったり、怒鳴られたりするのが分かっているが、
写真をとって被災した人たちに少しでも多くの情報を
伝えていこうとしていてとても感動した。震災にあつた人たちが
神戸を復興してくれたおかげで今の神戸や自分たちのくらしが
あるからこの神戸や今のくらしを大切にしたい。

パネル展示を見て

1月15日 当日のパネルが、あり、じれだ、けの
(金) 被害があったのか、改めて分かつ
ました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今日は、命の尊さ、大切さに、深く考え
させられ、地震のおそろしさを、いうかん
点、からも、改めて気づかされました。
そして、少しは、被害を、少なくできるよ
うに、いつでも、地震が、きても、対策をとっ
て、いきたいです。主に、防災グッズ、や、防災、功
能、を、用意、を、して、いつでも、地震が、きても
い、い、よう、な、準備、を、したい、です。

パネル展示を見て

1月15日 パネルを見て思ったことは、今の神戸
(金) 戸と写真の神戸がものすごくちがう
かったことにおどろきました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

防災学習では、今コナカが流行してい
るときに地震が来たときは、なに
かひな人場所に持っていったらいい
か分からなかったけど今日の学習で
なにを連れていったらいいかが分かりま
した。新聞社の人たちは、これからこの地
震をこれからど人ど人伝えていき、みんな
に語りついでもらうために地震が起きた
初めでも新聞を出していったんだとほ
くは知りました。新聞社の仕事は「伝えていく」だ
とほくは思いました。

パネル展示を見て

1月15日

(金) 当時の人の、おたことのおい写真がたかさんあ、た
い、おふろやごはんもな、な、けん命に笑顔で過ごしていたのか、
心の中のさつぽる。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は防災学習をして、色々なものがぶついたり、人がたかくなったり、
失ってしまうこともあったけど、地震などの災害を通して、新たに
気付けた、おたのさつぽるなどいろいろなことを知りました。また、
地震があつたからこそ、あたりまえのことがあたりまえじゃな
いということに、あらためて気付きました。

新聞社の人達の仕事についても、深く知ることができ
ました。新聞をたかすために、どんなことをしてても、と
りあえず新聞をたかすという、新聞への熱い想いを神
戸新聞の人が実祭に来てくれて、知ることができました。
神戸新聞の人の新聞に対するまっすぐな気持ちと、みなさん
たいなと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 パネルを見て、僕は終戦直後の日本ではな
(金) いかと、思うくらい今と180度違っていました。
一枚一枚の写真に固まってきた感じがしました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

この防災学習を通じて、僕たちの世代は経馬車した
ことがなく、この学習をしなければ、実感さえ無かった
と思います。ですが、パネル展示や、講演会などをして、
本当に「阪神・淡路大震災」があった、たくさんの方が
亡くなった、という事実があるのを理解しました。
また、災害を通して気づけなかった本当の大切な物に気づ
くことができました。当時、災害を経馬車した人も「災害
があ、たかうこ気づけたものがある」と思います。
また、この地震は、今のコロナ禍にも通じる「何か」があ
ると、僕はすごく感じました。

パネル展示を見て

1月15日 パネル展示を見て、みんな所にはたくさん
(金) 人がいて、ダンボールでできたりしていいのを見てエモされ
ているのを感じた。家がつぶれてしまったり、火で家が燃えているところを見て、と

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今日、講演会を終えて、日本の色々なところでたくさん
の自然災害が、おこり七けた方がいるんだと知った。
コロナの時期に地震などが発生した場合、こまめに
除きんをしたりすることが大切だと感じた。みんな所
でもソーシャルディスタンスをたもちみんなすることが大事だと
学んだ。地震だけでなく台風、津波が起きたとき自
分がどの行動を取らうかいいのかわからないことを考えておくこ
とが大切だと感じた。

と見て、と
てもおどろ
いけ。

パネル展示を見て

1月15日 写真だけじゃわかる当時の状況。26年が経ち今は
(金) きてる。住んでいけ神戸の町がここまで復興できた
のが本当にすごいことだと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回の防災学習でまず、一番に自然災害は地震ないにと、でも
やっぱり地震が一番人の命をうばう自然災害かなと思いました。
神戸新聞社の方に実際お話を聞くことができ、地震の備え
とか、新型コロナウイルスが流行っているこのご時世で、どう対策
していかなければいいのか、という今自分に必要なことまで聞く
ことができ、本当に貴重な時間をいただいたと思いました。こ
れから、また南海トラフ巨大地震が近々くるともいわれている中
で今後阪神淡路大震災のような被害を被らないためにも神戸
の町を守っていけるような人でありたいし希望のある町
だということをもっと人々に伝えていきたいです。

パネル展示を見て

1月15日 一枚一枚の写真が、地震の恐ろしさをよく
(金) 表していました。写真だけでも辛いのに、その場に
いた人のことを考えると、そこから前を向ける心がすごいと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は、地震による火災のことが一番印象的で
した。写真で見た上空からの神戸は、誰かの魔
法なんじゃないかと思うくらい真黒で、あちこちで
炎があがっていました。ニュースで火事の現場を
報道していたりするけど、それとは全く比べもの
になりません。もしその場にいたらと思うと、本当に恐
ろしいです。それにもしあの火の海に誰かがとどめられて
いたら、助けることもできずただこわくて無力で大変
だ、たと思います。でもみんなとも乗り越えて復興に努
めたことがとても素晴らしいと思いました。たくさん人の思いが
つまった神戸を私達でいつか、と素晴らしいものにしたいです。

パネル展示を見て

1月15日 私はパネル展示を見て人々が協力して生きていることに気付きました。(金) した。列をつくらせて炊き出し。遊んでいる小学生。つらいけれども頑張っていて生きようという姿に立ち上がる姿に心が震えました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

防災学習で私は2つのことについて考えました。1つ目はコロナ禍での避難難。学習でアルコール消毒液、マスク、体温計が必要だと知りました。でも、家族で用意した避難リュックにはまだ入っていないので早急に加えたいと思います。2つ目は阪神淡路大震災についてです。当時の淡路の町長が国に申し出たのが初めて知りました。私の家では神戸新聞ではない全国紙を読んでいるのですが「阪神大震災」と書いてあります。淡路島では62人も亡くなったのでこの名前は絶対に風化させたくないと思いました。

また、新聞社の仕事についての話で「希望を伝える新聞」という言葉が印象に残りました。このご時世、暗いニュースが多いですがそれでも動物の赤ちゃんが産まれた記事を読むと笑顔になります。これからも防災、減災に興味を持ちたいです。

パネル展示を見て

1月15日 一度災害が起きてしまうと、大きな被害が下ってしまうこと(金)とを感じさせられた。いつ起きるか分からない災害にいつでも対策できるように身のまわりの工夫をしていきたいと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今、コロナというウイルスが広まっているなかこんなにも恐ろしい災害が起こってしまったらということを見るととてもこわくなった。もし自分自身が実際に災害にあっても完璧に対策できないと思う。しかし、今回災害の対策や避難する上で重要なことをたくさん学習したことにより、このことを家族にも知ってもらいたいと感じた。防災をし、災害が起きても家族の中で誰一人かけないようにしたい。改めて災害という誰にもなくすことのできない恐ろしい自然を知り、それと同時にこれから先のための防災の重要性や家族の大切さを感じることでできた。

パネル展示を見て

1月15日 1-2の前の避難所の写真を見て、避難所に
(金) 大人から赤ちゃんまでいて食糧もあまり足りていな
いのにがんばって避難していたので本当に大変だったなあと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

パネル展示や講演会の話を知り、まず最初におも
ったのは、やはり災害に対して対策しておかないといけない
なと思いました。家に非常食はあっても少しもかな
いので、もう少し用意しようと思いました。それは、災害は
いつ来るかわからないので常に気を付けていようと思いました。
新聞社の仕事については、新聞社も被災しているのに取材
に行き、本当に人に情報を伝えたいんだなあと感心しま
しました。

パネル展示を見て

1月14日

(木)

展示されているパネルを見て、避難所で生活している人の大変さがわかりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて改めて災害はとてつもない
ものだということがわかりました。そして阪神・淡路
大震災の規模の大きさが亡くなった人の人数など
を知りました。実際に被災した人から直接話を聞いて
避難所で生活することの大変さや震度7の地震が起きたと
きの感覚なども初めて知りました。そして地震が起き
て神戸新聞の人達がどのようにして記事をつけたのかなど
もよくわかりました。今回学んだことをいかして、地震が起き
たとしてもすぐに正しい行動をおこせるようにしたい
です。

パネル展示を見て

1月15日 今働いている町か、どうかいしたりしていて本館へ
(金) 又またで何か今こうしてお復讐しているのは根の
機のおかげなので本館に市民の方達と感謝したいです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞社の方達は、大昔な災害でも休まねに かく困っている方の
写真を残しているのを見てとても大変だし 驚かしているのだと思
いました。今も写真を残してくれた方に 感謝したり
しています。 色々な物と部屋をわしづかみにした感じもいって
いたので、これだけの中ねのホト 読むと島は「かきさ
まね」を生かぬてくれた親に、心から感謝の念を
伝えるたいし、この地震を伝えてくれた人にも
感謝をしたいです。

パネル展示を見て

1月 日 展示を見て思ったことは、火事かよいかうたのは、
() 長田区だけではない、こもよいということ
が、かいた写真でいろいろなことを見ることか、です。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて思ったことは、日本は本当に災害が多い
思った。でも災害自体を減らすことができなくても被
害を減らすことはできるし、備えることよって生きていけ
る可食性と生か上がると思った。でもそれでは、完全では
ないので適度におそれた) 災害についての知識をつける
ことは、大切だと思った。新聞者の仕事については、
大変というのは、知っていたけど火事などが起きたら真
夜中でもすぐにいかなないといいなということがあるらしい
ので想像よりも大変だと思った。けどその分
りかいないかあるから、続けていると考えた。

パネル展示を見て

1月15日

(金) 地震があったときの様子が「知れた。言葉だけじゃわからないようなことが分かった。」

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

みよしさんのお話を聞いて、たくさんの方が「学べました。知らない今までの『災害対応』の仕方が分かりました。特に「一回回の災害でそれぞれいろいろなことを学んで次に活かす」というのが「印象にのこりました。もうすぐ「南海トラフ地震がくるといわれているけど」「津波の心配もたまた東日本大震災の経験などを活かして対策を考えてみたいです。また、コロナ禍でもあるので、それも含めて「避難の仕方」や「持ち物」なども考えたいです。

パネル展示を見て

1月15日

パネル展示の中の六甲道駅かくすれている写真を見て、入夏(金)「建物もくずれくらしい強さだと分かりました。また、写真で水、火、電気に関する写真が並びましたので、ほど強さだと分かりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を聞いて、「災害は止めることができない。被害は人ごとで拡大していくという点があるけど、被害をおさえること、そこから守ることもできる」ということが分かった。自然災害では、いつ起こるか分からない、余震が何回くるかも分からない。熊本地震の際に震度7が2回起こるかもしれない。災害が最も多い日本だけに、これから、防災・減災を行って被害を少なくすることが大事だと分かりました。また、コロナが流行している今、もし災害が起きて避難するときに注意すべきことが沢山あると分かりました。避難するときの用意以外に、マスク、消毒液や体温計が必要になると分かりました。また自分の単に避難したり、知人の家や自分の家に避難する垂直避難も重要になっていくことも分かりました。